

第225回 番組審議会

1. 日 時 平成25年9月10日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 9名(欠席委員数 2名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)
竹中 陽一(副委員長)
—以下50音順—
加藤 裕一
久慈 浩介
菅原 正二
原 圭介
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者(6名)

小原 忍(専務取締役)
前田 秀男(取締役技術局長)
藤原 銀司(取締役営業局長)
工藤 浩(取締役総務局長)
紅屋 幸樹(めんこいエンタープライズ制作部副部長)
高橋 淳(めんこいエンタープライズ制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議 題 『山海漬～いわて懐かし屋物語～』

平成25年8月24日(土) 18:30～19:00放送

5. 議 事 概 要

今回は、8月24日(土)午後6時30分から放送された「山・海・漬～いわて懐かし屋物語」を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●めんこいエンタープライズ 紅屋プロデューサーからの説明

- ・番組のコンセプトは「岩手の様々な魅力を伝える」こと。
- ・昨年度の平均視聴率は14%で歴代2位という記録。視聴者からの要望もありグルメ企画が多いが、グルメだけでは以前のような数字を取れなくなってきており「ディレクターお奨めのラーメン」などエッセンスを加える等の工夫をしている。
- ・専門家からすると物足りないかもしれないが、視聴者にとって手の届きやすい情報を分かりやすく網羅し、1カットを長めにとり小野寺瑞穂さんのナレーションでゆったりと見せることで素材の良さや出演者の気持ちを引き出すことができるのではないかと考えている。

●めんこいエンタープライズ高橋淳ディレクターからの説明

- ・今回は駄菓子屋やおしるこ店など視聴者に子供の頃や青春時代を振り返ってもらえるような店を紹介した。あえてリポーターを起用せず、普段よりもっとゆっくりしたリズムで店の思いを伝えることを大切にした。
- ・店の成り立ち、歴史、手がけている味をバランスよく構成することを心がけた。見終わった後、視聴者が家族や友人と思い出話をしてくれると嬉しいという思いがあった。

●出席した委員からの意見

- ・思い出がふつふつと沸いてきて楽しく見ることができた。

- ・番組を見ながら数十年前の子供の頃を思い出した。見ながら家族とゆっくり話げできた番組だった。
- ・小野寺瑞穂さんのナレーションと懐かしさというテーマがマッチし、安心感を与える構成で好感の持てる内容だった。
- ・ゆったり見せたいのであれば、店を2つか3つに絞り、店主だけではなく、子供や地元の人たちの声も紹介してほしかった。
- ・県北、県南、沿岸などの店も紹介し、違いを比べみても面白かったのではないか。
- ・これからもいろいろな切り口で「懐かしさ」を掘り起こして紹介してほしい。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※ 平成25年9月11日(水) 産経新聞 東北版

※ 平成25年9月21日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ
番審りポート内で放送

※ 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし